

科目名		科目コード	開講時期	開講学年	必/選	6 (2) 単位 270h (90h)
公衆衛生看護学実習			前期	4		
担当教員名	電子メール			オフィスアワー		
市原千里、中島富志子 吉羽久美、野村政子 平塚久美子、鹿島田祐子	<u>chisato.ichihara@tohto.ac.jp</u>			月～金 10:00～16:00		
授業の概要						
保健所・市町村保健センター、学校、産業等の多様な場における対象の理解、及び保健活動（継続した訪問指導を含む個人・家族・集団・組織の生活支援、また、対象のアセスメントや支援活動の計画実施評価等）の展開の実際、関連する法律や制度の理解や行政施策と保健師活動の関係や健康危機管理等の公衆衛生看護管理について実習を通し学び、自ら実践できる能力を養う。						
キーワード		到達目標				
公衆衛生活動 健康課題、健康づくり 各種計画・指針 多職種・他機関との連携 ケアコーディネーション 地域包括ケア（システム） 保健師の役割り		1. 地域保健活動、産業保健活動、学校保健活動の法的根拠を理解する 2. 保健所、保健センターの機能役割、保健活動の違い、連携について理解する 3. 地域の各ライフサイクルにおける健康課題を把握し、支援方法を理解する 4. 地域包括支援センターの機能役割を理解する 5. 産業保健における看護職の役割りを理解する 6. 学校保健における養護教諭の役割りを理解する 7. 公衆衛生看護活動を担う保健師の役割りについて理解する				

授業の計画・形式					
第 1 週	＜学校保健実習＞ 深谷市内の小学校において、健康な子どもの発育発達を理解し、学校における養護教諭の活動や学校保健活動を理解する。				
第 2 週～4 週	＜保健所・市町村保健センター実習＞ 埼玉県内の保健所において、公衆衛生機関としての広域的活動や専門的保健活動における保健師の役割りについて講義や実際の支援を体験し理解する。 市町村保健センターにおいて、既存の資料等から地域の健康課題を把握し、地域住民の生活状況について理解を深める。また、保健事業の一連の過程や地区組織活動の支援、住民との関わり等から保健師の役割りを理解する。				
看護統合実習 第 5 週～6 週	＜産業保健実習＞ 埼玉県内の事業所等において、人々の働く場の理解と事業所の安全衛生活動、産業看護職の役割りについて理解する。また、事業所において健康教育を実施する。 ＜地域包括支援センター・子育て世代包括支援センター・健康管理センター＞地域包括支援センター・子育て世代包括支援センター・健康管理センターにおいて、実施されている看護支援の実際と地域で生活するためのケアコーディネーションについて理解する。また、学生の自己目標に沿った実習を展開する。				
教科書、参考書					
参考書	母子健康手帳、第 1 種衛生管理者（上）、公衆衛生看護学実習要綱				
受講要件					
保健師課程専攻している学生であり、3 年次後期までの必修科目、3 年次の実習科目の単位が全て取得できている事					
成績評価					
本試験	小テスト	レポート	成果発表（口頭・演習）	その他	合計
0%	0%	30%	10%	出席 2/3 以上 実習内容・記録 60%	100%
教員からのメッセージ					
事前学習、健康教育や保健指導の準備など、実習前に準備が必須かつ重要な科目です。教員は学生が達成感を感じられる実習となるように支援しますので、積極的に自主的に取り組んでください。					